

おおぐろの森中学校 図書館だより

2025 年 7 月

2025年度

第4号

7月に入り、気温が高い日が多くなってきました。暑い日は、学校図書館でゆっくり本を読んで過ごしませんか。さて、今月の3日から夏休みの図書貸出が始まりました。ひとり5冊まで借りることができますので、この夏休みに読みたい本を、ぜひ借りにきてください。この機会に、普段読まない本やシリーズの本などを読んでみましょう。

夏休み図書貸出のお知らせ

貸出期間: 7月3日(木)~17日(木)

または、夏休み開館日

返却日: 9月5日(金)

貸出冊数: 5冊

※夏休みには、学校図書館の開館日があります！詳しくは、
「図書館だより夏休み特別号」をご覧ください。



OG グランプリ結果発表

クラスの部

1年5組 2年4組 3年4組

個人の部(学年3位まで)

1年生 5組 吉田(紗)さん 1組 福田さん 5組 吉成さん

2年生 4組 高木さん 6組 小野高さん 4組 荻原さん

3年生 3組 ローリーンさん 2組 赤城さん 5組 工藤さん

※第2回 OG グランプリは、10月、11月に開催予定です。
お楽しみに！

課題図書コーナー



「スラムに水は流れない」 ヴァルシャ・バジャージ/著

「水の大切さ」が心に刻まれる1冊です。もし飲み水が手に入らなかったら…。水不足の貧しい地域に暮らす12歳のミンニ。ある夜、ミンニの兄が、「水マフィア」が水を盗んでいるところを目撃してしまい…。秘密を知ってしまったミンニの家族は、一体どうになってしまうのか！？

933-バ



「わたしは食べるのが下手」

天川栄人/著

母は料理教室の先生。でも、食べることが好きではない葵は、みんなと食べる給食の時間が特に苦痛と感じている。葵とは違う理由で「食べること」に悩む咲子。ふたりは、あることをきっかけに話しをするようになり…。「食べること」に向き合い、自分にとっての正解を探していく物語です。

913-テ



「鳥居きみ子 家族とフィールドワークを進めた人類学者」

竹内紘子/著

きみ子は、幼い頃から活発で、好奇心が旺盛だった。「おまえが男だったら…」と言われてしまう時代に、家族の理解と協力のもと、人類学者への道を切り開いていきます。若い頃は、自分のやりたいことを模索していたきみ子。将来何をしたいか、まだわからないという人にも読んでほしい一冊です。

289-ト

6月の読書イベント「分類ビンゴ」をクリアしたみなさん、おめでとうございます！ビンゴの景品は、総合文化部美術コースの皆さんが作成しました。素敵なしおりをありがとうございました！

読書フェアのお知らせ

「おおぐろの森中学校の生徒が選ぶ
心を動かされた本50選」

場所: 紀伊國屋書店流山おおたかの森店

期間: 7月1日(火)~30日(水)

10時~21時



おおぐろの森中学校の生徒の皆さんが作成したポップと一緒に、おすすめの本50冊が店頭に並んでいます。ぜひお立ち寄りください。また、おおぐろの森中学校の教育実践記録『答えのない教室パート2』のパネル展が開催されています。

戦争の本コーナー

夏休みに
読もう！

「8時15分 ヒロシマで生きぬいて許す」 美甘章子
「トンネルの森1945」 角野栄子
「14歳のひろしま ワタシゴト」 中澤晶子
「昔はおれと同年だった田中さんとの友情」 椰月美智子
「二十四の瞳」 壺井栄 「光のうつしえ」 朽木祥
「小さい潜水艦に恋をしたでかすぎるクジラの話」 野坂昭如
「火垂るの墓」 野坂昭如
「靴屋のタスケさん」 角野栄子
「神風二ト特攻隊」 荒井裕二
「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら」 汐見夏衛
※今年は、戦後80年の年です。平和を願う思いが込められた本をぜひ手にとってください。